



営農NEWS



ラッキョウ、タマネギ、ニンニク栽培での病害発生に注意しましょう

この冬は暖冬傾向ですが、1～2 月は期間により寒暖の差が大きい傾向で、露地越冬したラッキョウやタマネギ、ニンニクなどは、茎葉に凍霜害などの障害を受けているものがあります。今後、気温の上昇に伴って生育が回復し、伸長や肥大していきますが、天候不順の日が続くようなときには、障害を受けた部位などから各種病害が発生しやすくなりますので、十分な注意が必要です。

これらユリ科作物で春先から収穫期までに発生しやすい主な病害として、細菌による軟腐病やタマネギ腐敗病、ニンニク春腐病など、病原がカビで茎葉を侵すべと病や白色疫病、各種ボトリチス菌による葉枯症などがあります。

今後は天気予報に注意し、長期に曇雨天が続くような時には事前の予防、病害の早期発見、早期防除に心がけてください。また、**薬剤の散布に際しては、各作物の収穫前日数に注意し、株元や葉全体に丁寧に散布することが大切です。**

表 1 ラッキョウ軟腐病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
Z ボルドー	500 倍	— / —
スターナ水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内

表 2 ラッキョウ白色疫病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 3 日前まで / 4 回以内
フロンサイド水和剤	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 5 回以内
フォリオゴールド	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内

表 3 ラッキョウ灰色かび病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
セイビアーフロアブル 20	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ダコニール 1000	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
フロンサイド水和剤	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 5 回以内

表 4 タマネギ軟腐病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
Z ボルドー	500 倍	— / —
スターナ水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内
カスミンボルドー	1,000 倍	収穫 14 日前まで / 5 回以内

表 5 タマネギ白色疫病およびべと病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
プロポーズ顆粒水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
ランマンフロアブル	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
リドミルゴールド MZ	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内
ジマンダイセン水和剤	400～600 倍（白色疫病は 400～500 倍）	収穫 3 日前まで / 5 回以内

表 6 タマネギ灰色かび病および灰色腐敗病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カンタスドライフロアブル	1,000～1,500 倍	収穫前日まで / 3 回以内
セイビアーフロアブル 20	1,000～1,500 倍（灰色腐敗病は 1,500 倍）	収穫前日まで / 3 回以内
ロブラール水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 3 回以内

表 7 ニンニク春腐病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
Z ボルドー	500 倍	— / —
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内

表 8 ニンニク葉枯病および黄斑病の主な防除薬剤（平成 28 年 3 月 4 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ダコニール 1000	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 6 回以内
ポリベリン水和剤	1,000～1,500 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
シグナムWDG	1,500 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040